

スマート農業・水産業推進プログラムの進捗状況について

1 スマート農業・水産業推進プログラムについて

(1) 趣旨

本県の農業・水産業の基盤を強化するためにはスマート化を加速する必要があることから、生産現場への技術導入・普及を推進するための実行計画として本プログラムを令和4年3月に策定した。

スマート技術は日進月歩で技術開発が進むことから、ロードマップや追加すべき新たな技術の検討を行い、令和7年3月にプログラムの見直しを行った。

(2) 対象期間

2022（令和4）年度から2026（令和8）年度までの5年間

(3) 農業の数値目標（目標年度2026（令和8）年度）

農業（耕種農業・畜産業）：スマート農業技術を約500経営体へ導入する。

2 農業の数値目標に対する2024（令和6）年度の進捗について

スマート農業技術 導入経営体数 408 経営体（前年比+31 経営体）
 うち 耕種農業 339 経営体（前年比+31 経営体）
 畜産業 69 経営体（前年比±0 経営体）

【耕種農業】技術別導入経営体数

導入技術	経営体数
環境モニタリング装置	200
環境制御装置<加湿器、ヒートポンプ、自動換気装置、CO ₂ 発生装置、ミスト発生装置等>	135
水田の水管理システム	5
田植え機（自動型、直進アシスト型）	4
トラクター（直進アシスト型）	34
アシストスーツ	25
草刈りロボット	12
ドローン（農薬散布）＊	9
ドローン（肥料散布）＊	1
ドローン（センシング）	1
生産・経営管理システム	12
その他＊＊	33
計	471

＊：ドローンの農薬散布・肥料散布の実績は、所有経営体数のみ（受益者数30戸を含めない）

＊＊：その他の内訳：自動かん水システム16経営体、KSAS（クボタ営農・サービス支援システム）対応米乾燥機6経営体、食味センサ付きコンバイン6経営体、画像認識きゅうり選果機1経営体、自動操舵システム1経営体、遠隔管理システム付き乾燥機1経営体、ドローン（遮光剤塗布）1経営体、コンバイン用自動操舵機1経営体

【畜産業】技術別導入経営体数

導入技術	経営体数
群管理システム<牛群管理・豚群管理>	18
遠隔監視システム<分娩、発情、異状等の検知>	20
自動換気システム	12
自動給餌機・エサ寄せロボット	15
オートソーティングシステム・体重推定装置	4
畜舎洗浄ロボット	2
自動集卵システム	14
自動除ふんシステム	7
哺乳ロボット・搾乳ロボット	12
その他*	6
計	110

*：その他の内訳：トラクター自動操舵補助システム3件、営農アプリ1件、販売管理システム1件、ミルクタクシー1件

3 2024（令和6）年度の主な取組について

（1）神奈川県スマート農業推進事業の実施

ア 事業目的

担い手の減少や高齢化が進行し、農業産出額が減少する中、これらの課題に対応し、解決することを目的として、スマート機器の導入により、農作業の効率化を図る取組を支援する。令和5年度より事業開始。

イ 事業内容

（ア）先進的産地育成事業費補助（補助率 1/3 以内、補助限度額 500 万円）

農業者団体が、栽培管理や集出荷、調整作業に用いるスマート機器の導入及び設置、データ分析等に要する経費や、農業者への貸し出し事業のために用いるスマート機器の導入及び設置に要する経費を補助する。

（イ）小型農業機械電動化・自動化支援事業費補助（補助率 1/3 以内、補助限度額 100 万円）

農業経営体が行うスマート機器の導入及び設置に要する経費を補助する。

※スマート機器は、「かながわスマート農業・水産業推進プログラム」の6（1）のロードマップに記載されている機器、その他栽培や集出荷、調整作業のスマート化に資する機器と認めたものを対象とする。

ウ 事業実績

(ア) 先進的産地育成事業費補助 2件

(導入機器) 食味センサ付きコンバイン、ラジコン草刈機 等

(イ) 小型農業機械電動化・自動化支援事業費補助 15件

(導入機器) 環境制御装置、直進アシスト型田植え機、草刈りロボット、ドローン 等



食味センサ付きコンバイン
先進的産地育成事業費補助



直進アシスト型田植え機
小型農業機械電動化・自動化支援事業費補助

(2) スマート農業技術研修会の開催

- ・ 本県農業へ導入が見込まれるスマート技術の機能などを紹介する研修会を、J A神奈川県中央会等との共催により、農業技術センターで実施した。
- ・ 生産者、農業関係団体、県機関から48名が参加した。
- ・ 県におけるスマート農業技術の実証研究結果についての講演や、ラジコン草刈機の実演、導入事例の紹介とパネルディスカッションを行った。



ラジコン草刈機